

# YAMAHA PIANO

サイレント・シリーズ

取扱説明書

YAMAHA

この度は、ヤマハピアノサイレントシリーズをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

お求めのピアノを正しくお使いいただくために、お使いになる前に、本書をよくお読みください。お読みになった後は、必ず保管しておいてください。

## 本機の特長

ヤマハピアノサイレントシリーズは、永年にわたる楽器づくりの経験と、高度なエレクトロニクス技術を融合・結集し、普段は通常のアップライトピアノとしてご使用いただけるほか、ピアノの音を消し、ヘッドフォンを通してピアノ電子音源の音を聴きながら演奏できる画期的なピアノです。

ご使用にあたりましては、本書をご参考にいただき、サイレントシリーズを十分に活用くださいますよう、お願い申し上げます。

## 目次

●ご使用になる前に	3
●基本編	
各部の名称、消音演奏をする	4・5
●応用編	
リバーブの設定	6
同時発音数の切換え	7
ピッチコントロール機能	8
MIDIについて/主な仕様	9
おかしいなと思ったら、ちょっとお調べください	10
MIDI インプリメンテーションチャート	11

## ご使用になる前に

### 付属品をお確かめください。

- \* 専用ACアダプター・1個
- \* ステレオヘッドホン・1個
- \* 取扱説明書(本書)

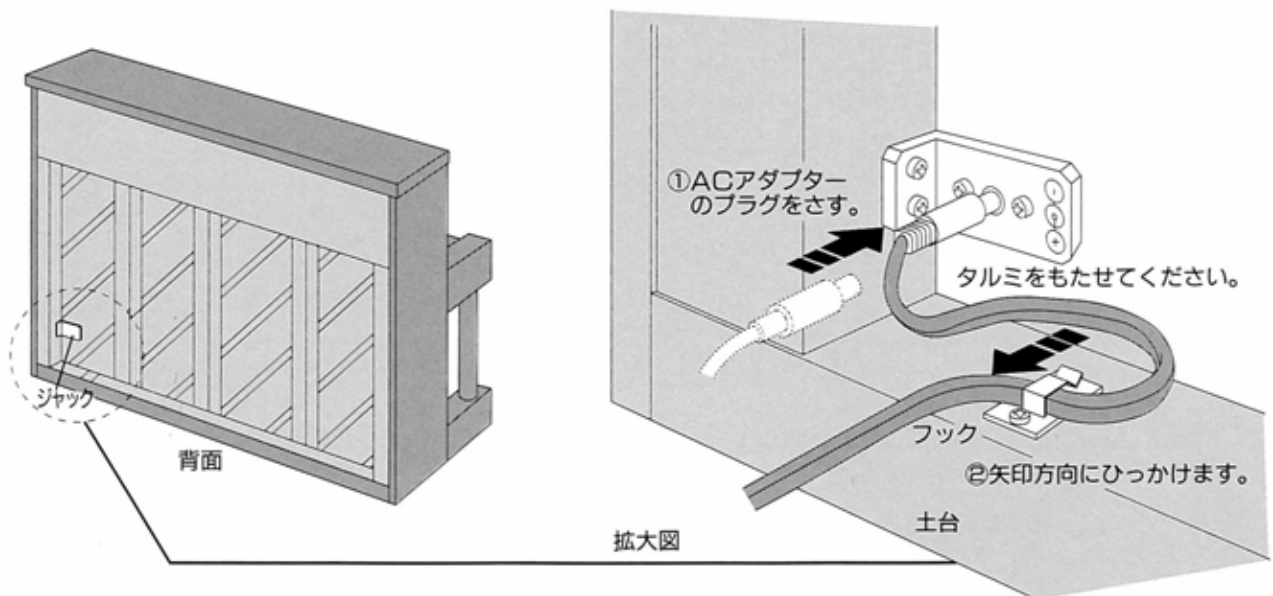
### 設置について

- \* 窓ざわなど直射日光の当たる場所は避けてください。
- \* 暖房器具のそばなど高温な場所、高湿な場所は避けてください。
- \* ホコリの多い場所を避けて設置してください。
- \* 煙、スプレーなどがかからないようご使用ください。
- \* ACアダプターは付属品以外絶対にご使用にならないでください。故障の原因になります。

### 専用ACアダプターの接続について

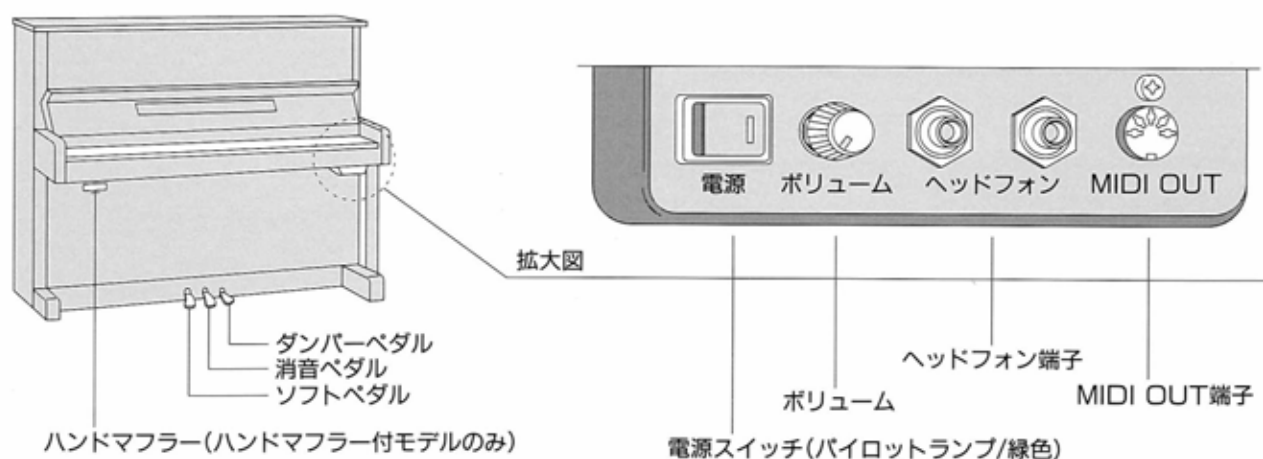
ピアノ本体裏側のジャックに、付属の専用ACアダプターを次のように接続してください。

- ①付属のACアダプターをピアノ本体のジャックに差しこみます。
- ②ピアノ土台上のフックにケーブルを図のように止めます。



※接続後、ACアダプターのケーブルはタルミをもたせてください。  
※この図はU300Sをサンプルとして説明されています。

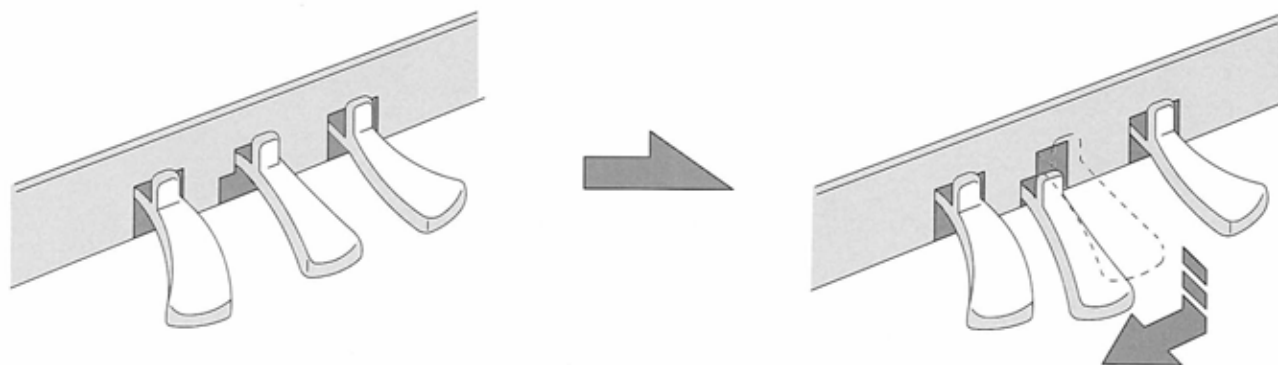
## 各部名称



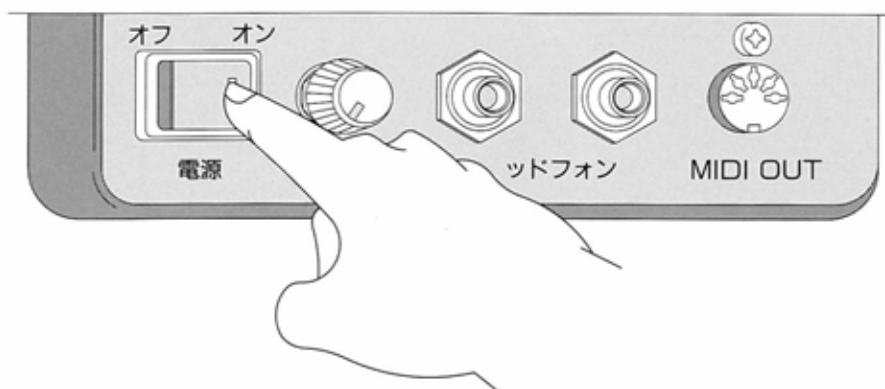
※ヘッドフォン端子…オーディオ機器や外部スピーカでピアノ電子音源の音を再生する場合などの接続端子としてもご利用いただけます。

## 消音演奏をする

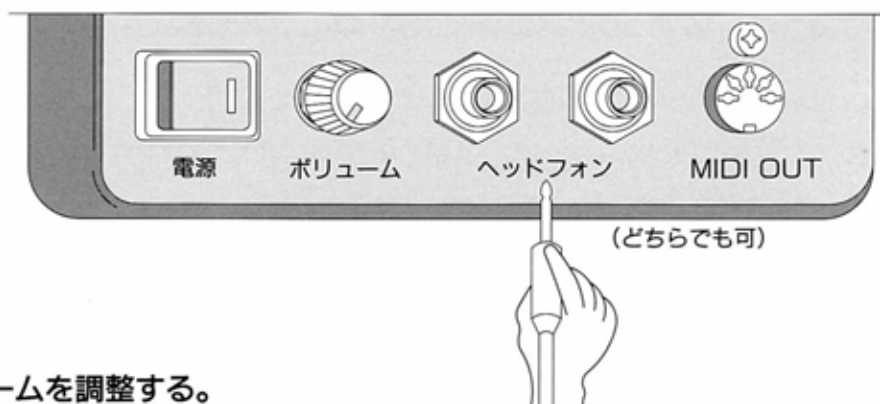
①消音ペダルを下に踏み込んでから左側にセットして下さい。(ハンドマフラー付モデルの場合は、ハンドマフラーを手前に引いてください。)これでピアノの音は消えます。



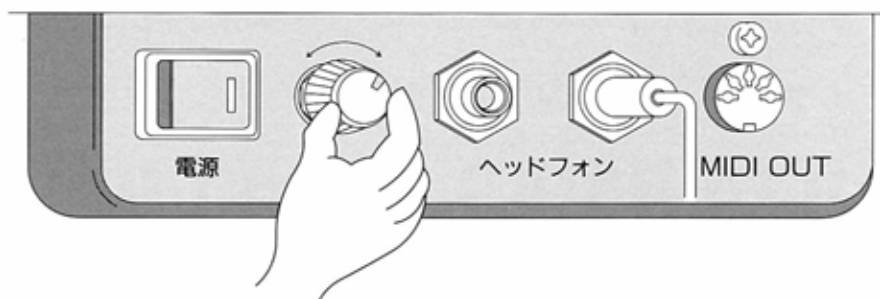
②電源スイッチをオンにして下さい。(緑色のパイロットランプが点灯することをお確かめください)



③ヘッドフォンをヘッドフォン端子に接続して下さい。(ヘッドフォンは2本まで同時に使えます)

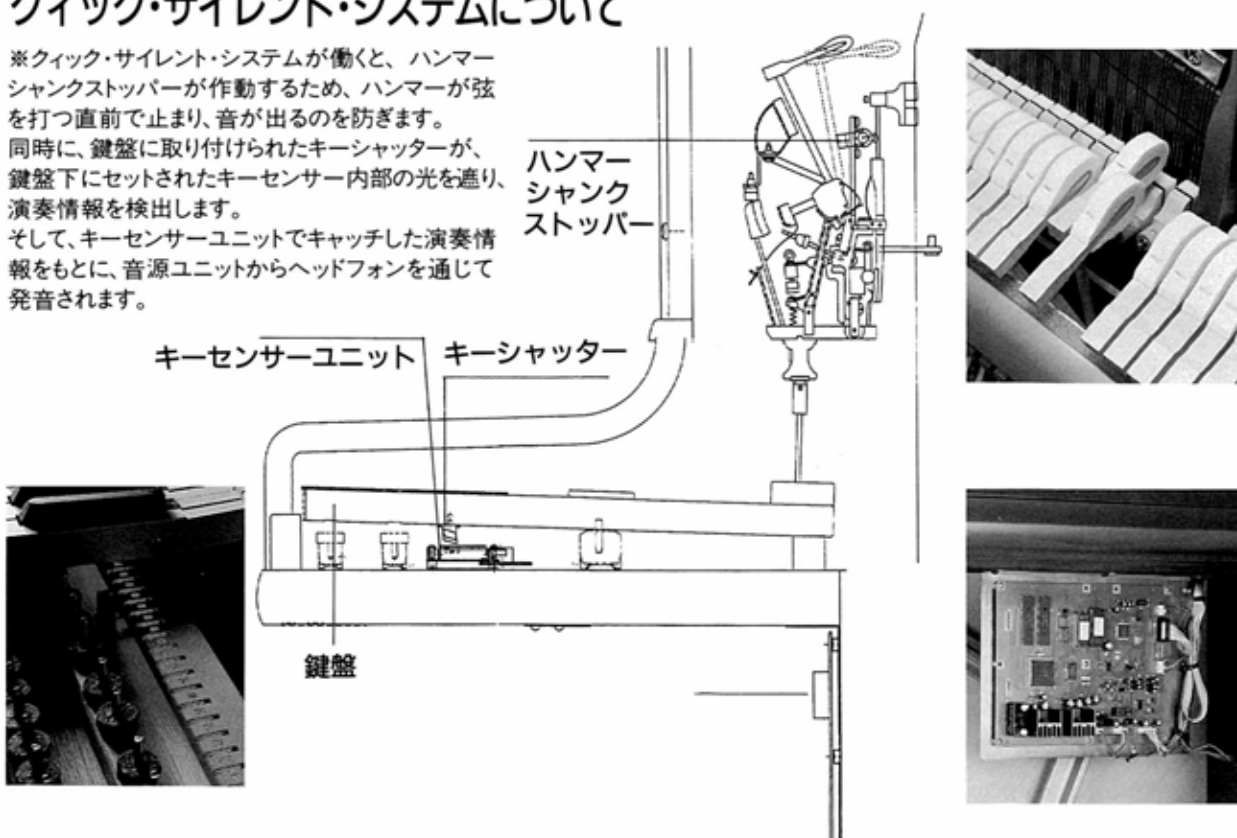


④音量ボリュームを調整する。



## クイック・サイレント・システムについて

※クイック・サイレント・システムが働くと、ハンマー・シャンクストッパーが作動するため、ハンマーが弦を打つ直前で止まり、音が出るのを防ぎます。同時に、鍵盤に取り付けられたキーシャッターが、鍵盤下にセットされたキーセンサー内部の光を遮り、演奏情報を検出します。そして、キーセンサーユニットでキャッチした演奏情報をもとに、音源ユニットからヘッドフォンを通じて発音されます。



## リバーブの設定

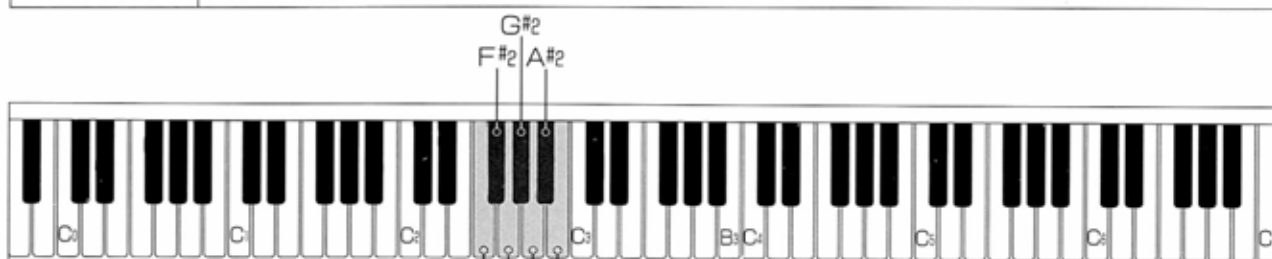
\* リバーブは、音に残響をつけ加えて、音の響きを豊かにする効果です。

\* 普通に電源オンするとリバーブはかかりませんが、図のように白鍵及び黒鍵を押しながら電源オンすることにより、リバーブのタイプ及び深さ(かかり具合)が設定できます。

\* 黒鍵でリバーブのタイプを、白鍵で深さを設定します。

黒鍵：タイプ

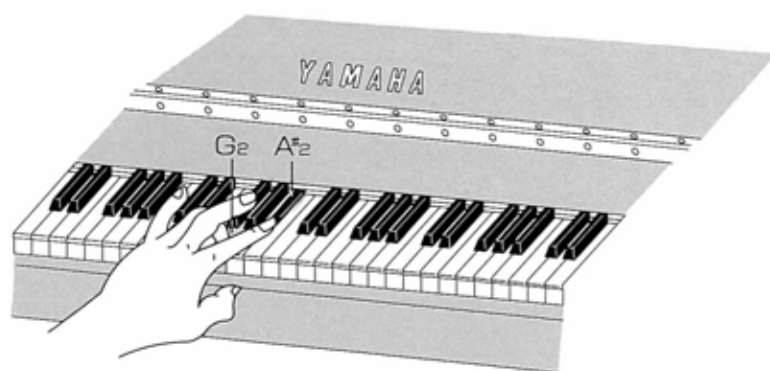
F <sup>#</sup> <sub>2</sub>	ルーム……響きやすい部屋の中で弾いた時のような音になります。
G <sup>#</sup> <sub>2</sub>	ホール1…小さなコンサートホールの中で弾いた時のような音になります。
A <sup>#</sup> <sub>2</sub>	ホール2…大きなコンサートホールの中で弾いた時のような音になります。



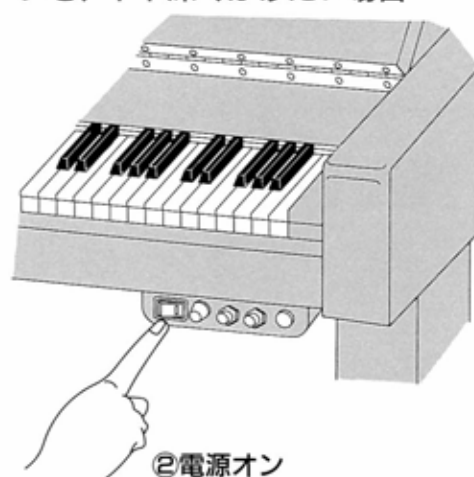
白鍵：深さ

F <sub>2</sub>	浅い
G <sub>2</sub>	やや深い
A <sub>2</sub>	深い
B <sub>2</sub>	かなり深い

設定例…ホール2のリバーブを、やや深くかけたい場合



①この場合リバーブ設定用  
鍵盤(G<sub>2</sub>とA<sup>#</sup><sub>2</sub>)を押しながら



②電源オン

補足 ● リバーブ設定は電源オフ時に解除されます。

## 同時発音数の切換え

\*サイレントシリーズの最大同時発音数は、通常ステレオ16音です。

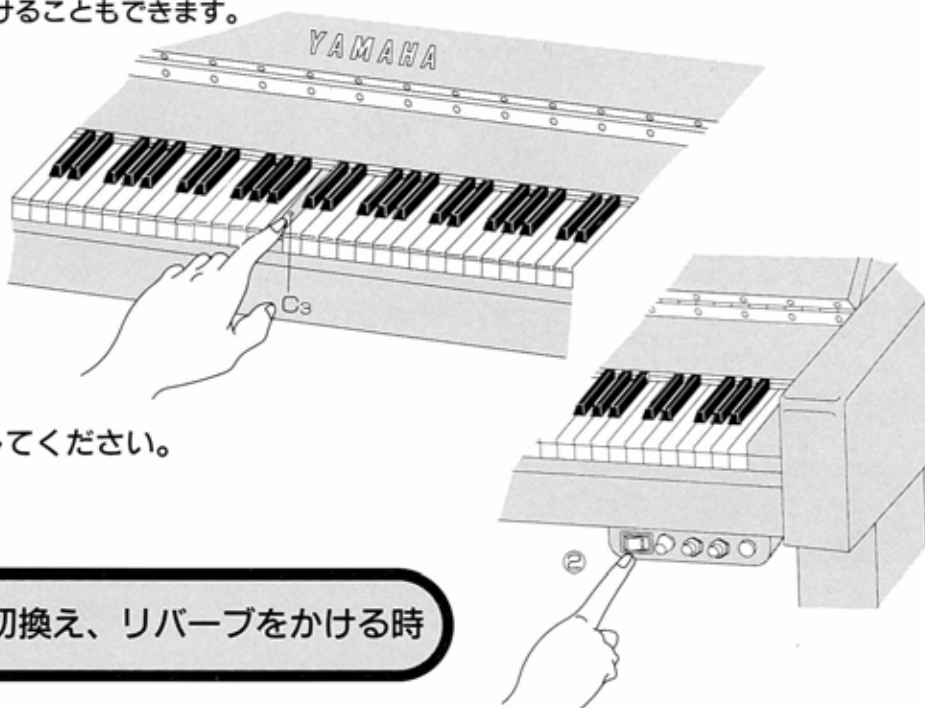
\*連弾やペダリングを多用する曲など、同時に17音以上の音を必要とする場合は、最大同時発音数を32音（モノラル）に切換えることができます。

\*また、同時にリバーブをかけることもできます。

### 1. 32音に切換える時

① C<sub>3</sub>の鍵盤を押します。

② 電源スイッチをオンにしてください。

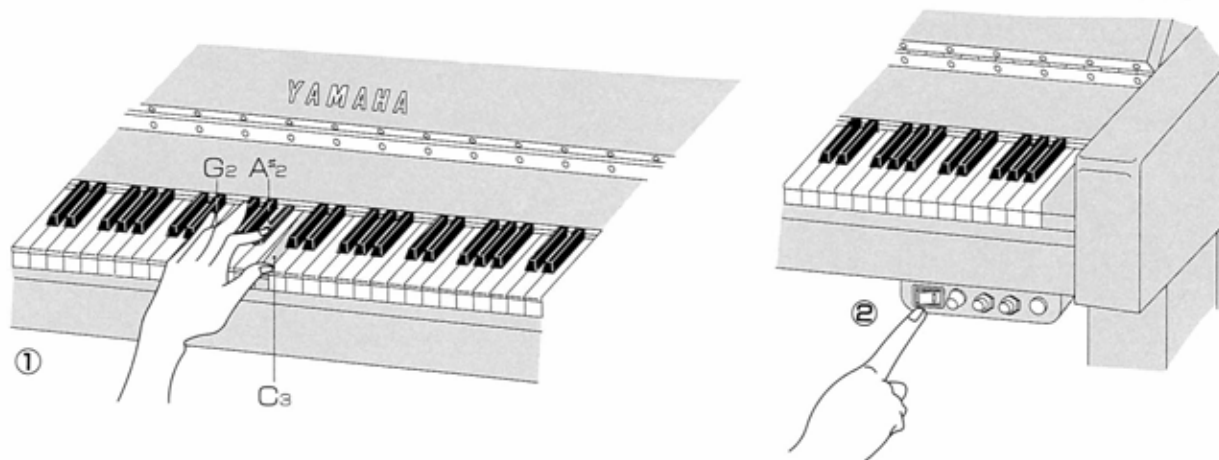


### 2. 同時発音数を32音に切換え、リバーブをかける時

① C<sub>3</sub>の鍵盤を押しながら、リバーブ設定の鍵盤を押します。（リバーブ設定のページをご参照ください）

② 電源スイッチをONにしてください。

設定例…同時発音数を32音に切換えながら、ホール2のリバーブをやや深くかけたい場合



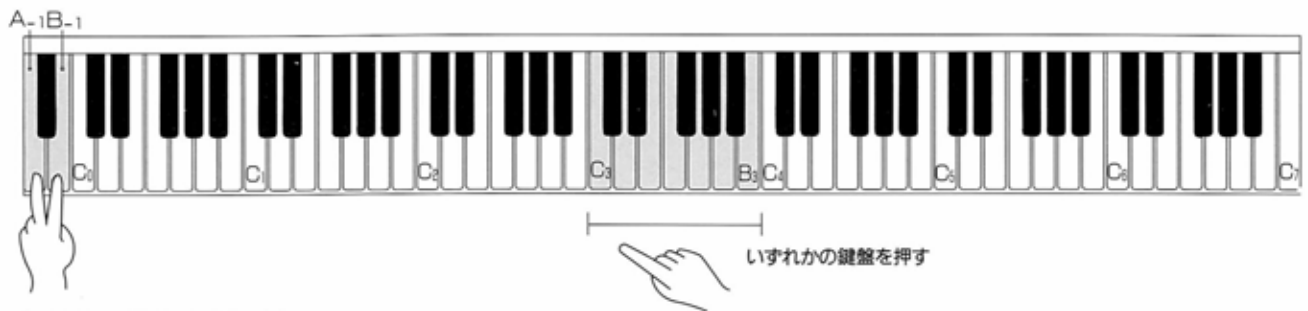
補足 ● 最大同時発音数の切換えは電源オフ時に解除されます。

## ピッチコントロール機能

合奏の時などに、音程(ピッチ)を正確に合わせるための機能です。他の楽器と微妙に音程が異なる場合は、この機能を使って音の高さを合わせます。※電源オンの状態でのみ、設定できます。

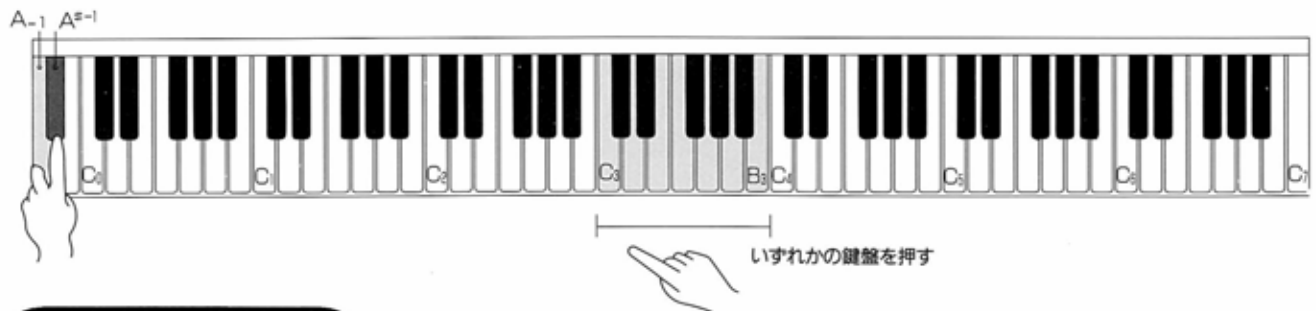
### 1. 音程を上げる時

- ① A-1とB-1の鍵盤(左端の白鍵2つ)を同時に押しながら、
- ② C<sub>3</sub>~B<sub>3</sub>のいずれかの鍵盤を押します。  
1回押すごとに少しずつ音程が上がっていきます。  
音を聴きながらこきざみに音程を上げて、他の楽器と合わせてください。



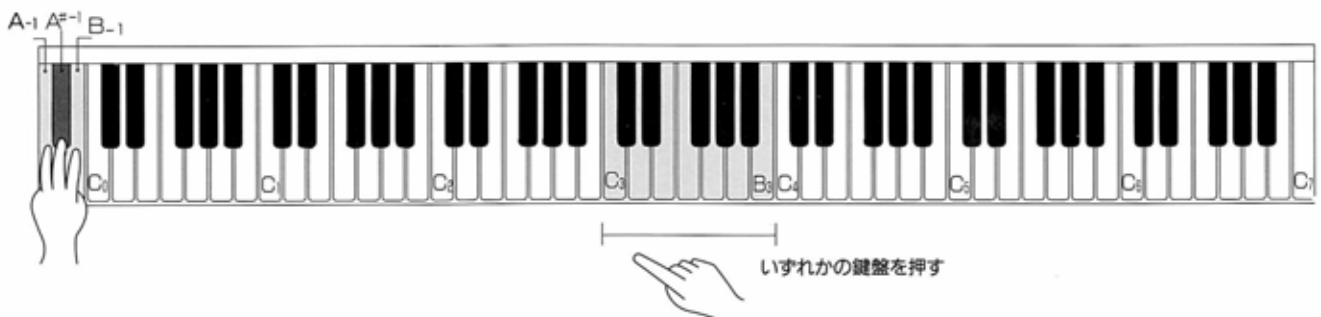
### 2. 音程を下げる時

- ① A-1とA<sup>#</sup>-1の鍵盤(左端の白鍵と黒鍵)を同時に押しながら
- ② C<sub>3</sub>~B<sub>3</sub>のいずれかの鍵盤を押します。  
1回押すごとに少しずつ音程が下がっていきます。音を聴きながらこきざみに音程を下げて、他の楽器と合わせてください。



### 3. 標準状態に戻す時

- ① A-1とA<sup>#</sup>-1とB-1の3鍵盤(左端の白鍵2つと黒鍵1つ)を同時に押しながら、
- ② C<sub>3</sub>~B<sub>3</sub>のいずれかの鍵盤を1回押してください。



- 補足 ● 音程は、±約50セントの範囲を約1.2セントきざみで設定できます。(100セント=半音)  
● 標準状態の時、A<sub>3</sub>=440Hzです。  
● 設定は電源をオフにするまで記憶され、電源オン時には標準状態に戻ります。



# MIDIについて

本機にはMIDI端子(OUTのみ)がついています。ここでは、MIDIの説明やMIDI機能を使ってできることなどをご紹介します。

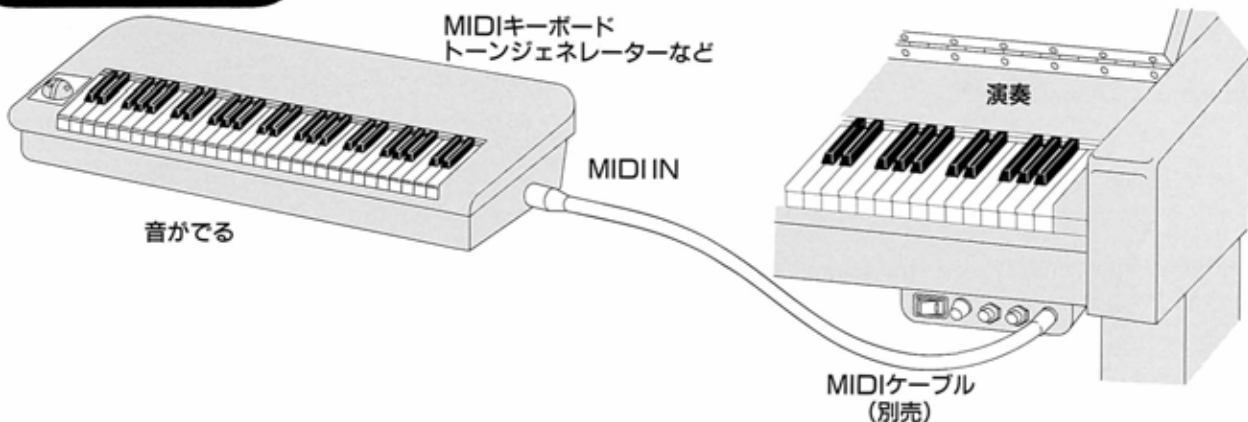
## 1.MIDIとは?

MIDI(ミディ)という言葉は、『Musical Instrument Digital Interface』の頭文字をとったものです。日本語に訳せば『楽器間のデジタル通信』ということになります。

MIDIとは2台以上の楽器をつないで、それらの中で、演奏に関連するさまざまなコントロールをさせようという目的で考え出された世界共通の規格です。世界共通の規格ですから、メーカーの異なる楽器間でもMIDI規格の楽器であればお互いにコントロールすることが可能です。

## 2.MIDIでできること

外部MIDI音源の音を鳴らす。



補足：MIDI信号はチャンネル1でMIDI OUT端子から出力されます。(チャンネルはCH=1で固定)

## 主な仕様

- 鍵盤……………88鍵(A<sub>1</sub>~C<sub>7</sub>・7オクターブ1/4)
- 効果・機能……………リバープ、ピッチコントロール
- 最大同時発音数…ステレオ16音(モノラル32音)切換式
- 電源……………AC100V、50/60Hz
- 定格消費電力……12W(DC15V、700mA)
- コントロール……電源スイッチ、ボリュームコントロール
- 付属端子……………ヘッドフォン端子(2)、MIDI端子(OUTのみ)
- 付属品……………ACアダプター(1)、ステレオヘッドフォン(1)取扱説明書

## おかしいなと思ったら…ちょっとお調べください。

電源を入れても音がしない	→ ●ピアノ裏側のACアダプターが抜けているかもしれません。確実に差し込んでください。 ●ボリュームが最小になっているかもしれません。適正位置に調整してください。
クィック・サイレント・システムで消音演奏時にも生ピアノの音が出る	→ ●極度に強く打鍵すると生ピアノの音が出ることがあります。打鍵の強さを加減してください。
市販のヘッドホンで聞くと音のバランスが異なる	→ ●ヘッドホンの種類によってそれぞれ特性が異なるため、ヘッドホンによってはバランスが異なることがあります。
市販のヘッドホンで聞くと音量が異なる	→ ●ヘッドホンの種類によってそれぞれ特性が異なるため、ヘッドホンによっては音量が異なることがあります。

### 電源について

必ずAC100V(50Hzまたは60Hz)のコンセントに接続してください。AC100V以外のコンセントには接続しないでください(本機は日本国内仕様です)。長期間ご使用にならない時は、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。

### ACアダプターについて

コード類の上に物を置いたり、ピアノのふたに挟みこんだりしないでください。コードを引張ったりしないでください。コード類を抜き差しする時は、必ず電源を切ってから、行ってください。コード類を抜く時は、断線やショートを防ぐため、必ずプラグを持って行ってください。

### こんな時には？

#### 落雷のおそれがある時は？

早めにコンセントから電源プラグを抜きとってください。

#### 水に濡れた時は？

万一雨が降ったり、水をこぼしてしまった時は、すぐ電源プラグを抜き、販売店にご連絡ください。また煙やスプレーなどがかからないよう、ご注意ください。

#### 移動する時は？

電源プラグを抜き、コード類をすべてはずしてから、移動します。ピアノの運搬・移動は専門の業者に依頼することをおすすめします。

#### ピアノの外装を磨く時は？

表面についたほこりは、ピアノ用の羽毛かやわらかな布で軽くから拭きします。鏡面艶出し塗装のピアノは、専用のヤマハピアノユニコン(別売)でムラなく拭きあげてください。市販の化学雑巾や外装手入れ剤は成分がわかりませんので、使用はさけてください。

#### 他の電気機器への影響は？

本機の近くでラジオ・テレビなどを同時に使用すると、ラジオ・テレビ側で雑音などが生じることがあります。十分離してご使用ください。

# MIDIインプリメンテーションチャート

Date:1993.6.28  
Version:1.0

ファンクション…		送 信	受 信	備 考
ベーシック チャンネル	電源オン時 設定可能	1チャンネル ×	×	
モード	電源オン時 メッセージ 代用	モード3 × *****	×	
ノート ナンバー	音域	21~108 *****	×	
ベロシティ	ノート・オン ノート・オフ	○90H、v=1~127 ×90H、v=0	×	
アフター タッチ	キー別 チャンネル別	×	×	
ピッチ・ベンダー		×	×	
コントロール チェンジ	07 11 64 66 67 91  121	×	×	ボリューム エクスプレッション ダンパーペダル ソステヌートペダル ソフトペダル リバーブデプス
プログラム チェンジ	設定可能範囲	×	×	リセットオール コントローラー
エクスクルーシブ		×	×	
コモン	ソング・ポジション ソング・セレクト チューン	×	×	
リアル タイム	クロック コマンド	×	×	
その他	ローカル・オン/オフ オール・ノート・オフ アクティブ・センシング リセット	×	×	
備考				

モード1:オムニ・オン、ポリ    モード2:オムニ・オン、モノ    ○:あり  
モード3:オムニ・オフ、ポリ    モード4:オムニ・オフ、モノ    ×:なし

## 保証とサービスについて

本機の保証期間は、保証書に記入されたご購入の日付から1年です(現金、ローン、月賦などによる区別はございません)。また保証は、日本国内にてのみ有効といたします。

### ●保証書

保証書をお受け取りのときは、お客さまのご住所、お名前、お買い上げの年月日、販売店名などを必ずご確認ください。無記名の場合は無効になりますので、くれぐれもご注意ください(保証書はピアノ本体の上前板内にあります)。

### ●保証書は大切に保管しましょう。

保証書は弊社が、本機をご購入頂いたお客さまに、保証規定の通りご購入の日から向こう1年の無償サービスをお約束申し上げるものですが、万一紛失なさいますと保証期間中であっても実費を頂戴させて頂くこととなります。いつでもご提示頂けますように十分ご配慮の上で保管してください。また、後々のサービスに際しての機種判別や、サービス依頼店の確認などにも役立ちます。保証期間が切れましてもお捨てにならないでください。

### ●保証期間中のサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合、お買い上げ店にご連絡頂きますと、技術者が修理・調整致します。この際、必ず保証書をご提示ください。保証書なき場合には、サービス料金を頂く場合もあります。またお買い上げ店より遠方に移転される場合は、事前にお買い上げ店あるいはヤマハにご連絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介申し上げますと同時に、引き続き保証期間中のサービスを責任をもって行うよう手続き致します。

満1年の保証期間を過ぎますとサービスは有料となりますが、引き続き責任をもってサービスをさせていただきます。なお、補修用性能部品の保有期間は最低8年となっています。そのほかご不明な点などございましたら、下記のヤマハサービス網までお問い合わせください。

### ヤマハサービス網

ピアノの保守点検等のサービスに関するお問い合わせは、お買い上げいただきましたヤマハ楽器特約店の他、下記ヤマハ各支店にてお受け致しております。

- 北海道支店 ☎064 札幌市中央区南10条西1丁目 ☎011(512)6114
- 仙台支店 ☎980 仙台市青葉区大町2-2-10 住友生命青葉通りビル ☎022(222)6148
- 東京支店 ☎104 東京都港区高輪2-17-11 ☎03(5488)1689
- 関東支店 ☎104 東京都港区高輪2-17-11 ☎03(5488)1684
- 名古屋支店 ☎460 名古屋市中区錦1-18-28 ☎052(201)5145
- 大阪支店 ☎542 大阪市中央区南船場3-12-9 心齋橋プラザビル東館 ☎06(252)8731
- 広島支店 ☎730 広島市中区紙屋町1-1-18 ☎082(244)3748
- 九州支店 ☎812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 ☎092(472)2152

所在地・電話番号など、都合により変更する場合がございますので、ご了承下さい。

## ヤマハ株式会社

### 国内楽器営業本部 ピアノ営業部

〒430 静岡県浜松市中沢町10-1 TEL(053)460-2181(代)